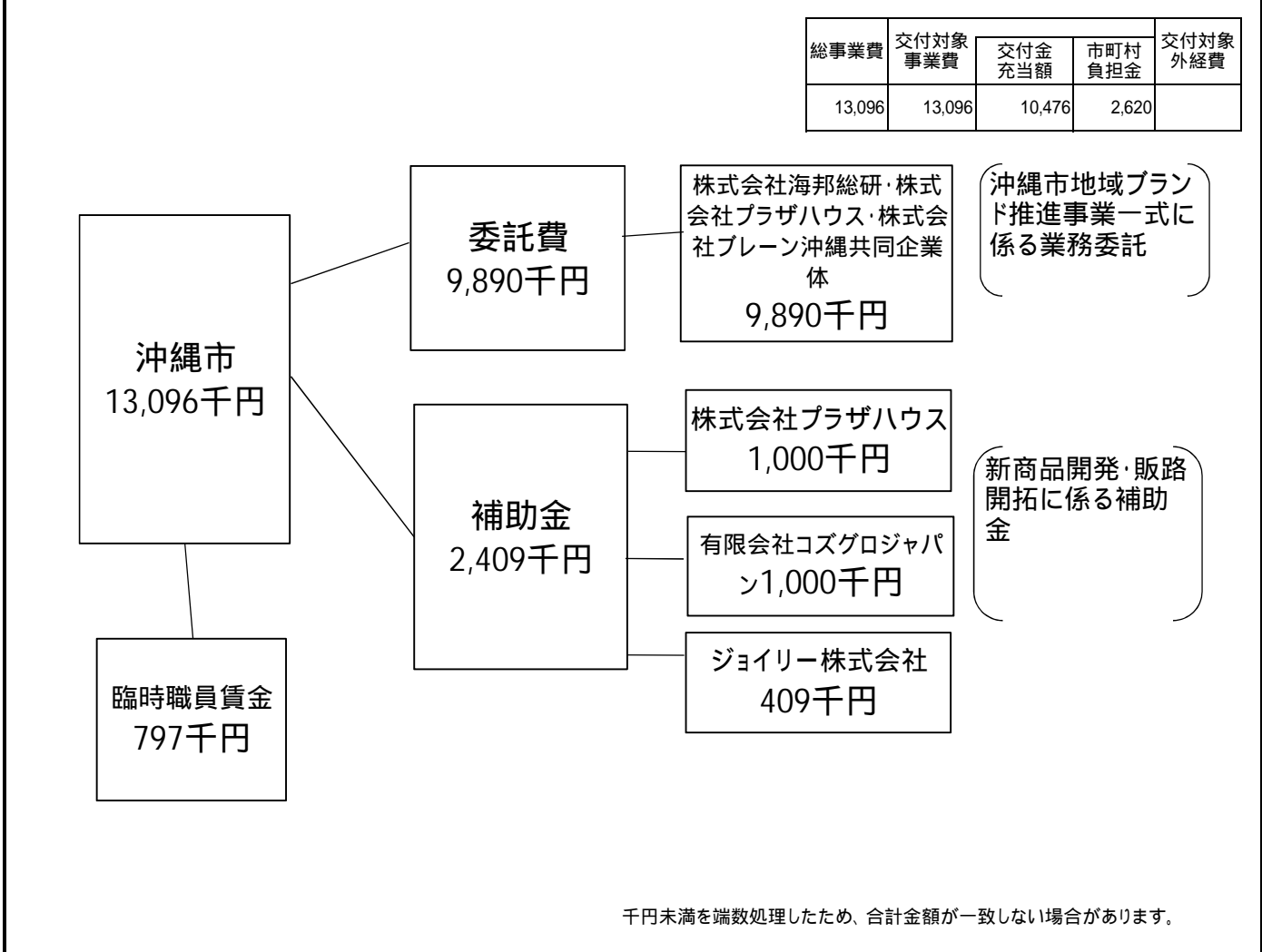


市町村名	沖縄市							
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	8-	地域ブランド推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部課名	経済文化部 商工振興課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成			
事業内容	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源(二次加工品等)を沖縄市のブランド品として認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、沖縄市ブランドの広報活動を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	15,945	-	13,850			
		(b)予算現額	5,146	-	13,689			
		(c)増減額(b-a)	10,799	-	161			
		(d)繰越額	-	715	-			
	A.計(b+d)		5,146	715	13,689			
	B.執行済額		4,431	715	13,096			
	うち交付金充当額		3,544	572	10,476			
	次年度繰越額		715		0			
	執行率(%) (B/A)		86.1%	100.0%	94.6%			
予算の状況の説明		・予算現額と執行済額に差額が生じている理由として、地域ブランド補助金にて4件交付決定した事業者のうち1件が、期間内での事業完了が見込めないとのことで辞退をしたという事由等である。その他、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			24年度(8-)	25年度	26年度(7-)	27年度(6-)		
	地域ブランド認定制度公募 地域資源選定制度公募 地域ブランド推進事業補助金の公募	目標	()	()	1回 1回 2回	()		
		実績			1回 1回 1回			
			目標	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド認定制度の公募により、2商品認定。 ・地域資源選定制度の公募により、11商品選定。 ・地域ブランド推進事業補助金の公募回数は1回に留まったが、3商品の新商品開発及び販路拡大を実施した。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度(8-)	25年度	26年度(7-)	目標値(29年度)	
	コザスター商品認定数 コザチョイス商品選定数 新商品開発	目標	()	()	()	3商品 10商品 5件	()	
		実績				2商品 11商品 3件		
	【参考指標】 新商品販売個数 化粧品(ヘアトニック) 雑貨品(ステーションナリー) 飲食品(パイヤゼリー) 新商品販売売上額		目標	()	()	()	()	2,400個 2,400千円
			実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発については、平成25年度にコザスターの認定を受ける商品(1商品)が出るなど、一定の成果もみられた。 ・平成25年度に新商品開発した商品について、年度内のほとんどを開発と改良に時間を要するため、新商品の販売はほとんどできず、販売個数及び売上額は0となり、本格的な販売は平成26年度からとなった。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>コザスター及びコザチョイスへの募集に対して、年々応募数が減少傾向にあり、また、認定(選定)件数も減少している状況である。</p> <p>既存商品をはじめ、商品の掘り起しや認定に向けたブラッシュアップ支援なども必要である。</p> <p>本市が予定していたプロモーション等の支援策と事業者が求めている支援策とで合わないものもあったため、より効果的な支援策の検討が必要である。</p> <p>新商品開発した商品については、年度内のほとんどが開発と改良に時間を要するため、年度内の販売までには至らない。</p>	<p>コザスター認定商品数を増やす目的で、一度、認定に至らなかった商品でも、ブラッシュアップ支援として、商品の高付加価値化への支援なども取り入れる必要がある。</p> <p>また、認定(選定)事業者がどういった支援策を望んでいるのか、認定事業者や関係団体の意見をきいて事業者ニーズに合ったより効果的な支援策を検討する必要がある。</p> <p>販売初年度にあたることから、商品のPR等の支援策が必要である。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>コザスター及びコザチョイスの認定(選定)数の増加やより効果的な事業展開を図るため、今後は事務局を沖縄市から民間団体(沖縄市観光物産振興協会)へ移管し、事業者への制度の周知活動や相談体制の強化を図るとともに、より事業者や市民のニーズに即したプロモーションの展開を図っていく。</p> <p>また、事業実施者となる沖縄市観光物産振興協会や専門委員で構成する「コザスター戦略会議」と連携し、認定(選定)に向けた商品の掘り起しやブラッシュアップ支援を強化していく。</p> <p>新商品開発のフォローアップとして、沖縄市産業まつりで、ブースを設け、新商品紹介や試食コーナーなど実施し支援していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目、使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託事業者は企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> <p>○地域ブランド補助金に関しては、総事業費の3分の1を受益者負担としていることから、受益者との負担関係は妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	